

令和8年度 研究概要

一人一人に合った学びと共に学ぶ力を 育てる授業づくりの工夫

～児童生徒の変容から考える「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

令和8年度

個別最適な学びの充実

令和9年度

協働的な学びの充実と
一体的な実現

1 テーマ研究



実態調査表を基に授業づくりを行い、単元を通して児童生徒の学びの変容を捉え、「個別最適な学び」の視点からの授業改善を行います。

2 授業研究



各学部で授業参観ウィークを設定し、学部・学級を越えた参観を実施する。事前・事後の短時間協議では、授業者の課題や相談内容を共有し、教員同士の対話を通して授業改善と授業力向上を図ります。

3 学部研究

学部ごとに研究テーマを設定し、テーマに基づいた意見交流や授業づくりを通して、実践の充実と指導力の向上を図ります。

小学部

「やってみたいを引き出す遊びの環境設定」

中学部

「交流及び共同学習における意思決定を生かす場面設定の工夫」

高等部

「個別最適な教材づくり～生徒の課題解決に向けて～」

